

シイノキ^{ぐん}群

●所在地／双海町串池ノ久保 ●所有者／池ノ久保区

ブナ科。^{どやまじぞうどう}土山地蔵堂に近くスダジイ（イタジイ、ナガジイともいう）の大木が3本あり、それらのうち最大のものの^{かんしゅう きょうこう}幹周は胸高490cm、^{じゅこう}樹高15mで樹齡は400年以上と推定される。

スダジイは西日本の暖地に広く^{じょうりょくこうぼく}自生する常緑高木。^{じゅかん}樹冠はよく繁って球状に盛り上がる。幹の樹皮は灰黒色で成長に伴って縦に多数の割れ目が生じる。近縁のコジイ（ツブラジイともいう）では樹皮には特別の変化は見られないので区別できる。



共に初夏の頃に新しい枝に上向きに黄色い雄花の長い穂を多数つけ、雌花の穂はその下に少数つける。花は強い香りを放って昆虫を誘う^{ちゅうばいか}虫媒花である。